

**授業概要**

保育者としての実践力を身につけるため、チャイルドウォッチングや保育場面の事例検討を通して、子どもを観察する方法と子どもを理解する方法を指導する。

また、幼児教育・保育に関する現代の課題に関心を持ち、問題意識をもって意欲的に学習していく姿勢を身に着けるため、幼児教育分野における研究方法（問題設定、情報収集、調査、考察、研究成果の発表）を指導する。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	子ども理解①チャイルドウォッチング（実施内容の説明）
第 3 回	子ども理解②チャイルドウォッチング（記録の実施）
第 4 回	子ども理解③チャイルドウォッチング（記録の共有）
第 5 回	子ども理解④保育場面の事例検討（記録方法の学習）
第 6 回	子ども理解⑤保育場面の事例検討（記録の実施）
第 7 回	子ども理解⑥保育場面の事例検討（記録の共有）
第 8 回	研究発表①研究発表の目的・内容の理解
第 9 回	研究発表②研究テーマの検討
第 10 回	研究発表③情報収集
第 11 回	研究発表④調査
第 12 回	研究発表⑤結果の整理
第 13 回	研究発表⑥発表内容の検討
第 14 回	研究発表⑦発表会の実施
第 15 回	まとめ

**到達目標**

- ・子どもの行動の理由や周囲の人との関係性などを意識しつつ観察・記録することができる。
- ・子どもの行動と関連する情報（発達段階など）を結び付け、子どもを理解することができる。
- ・子どもに関わる諸問題に関心を持ち、意欲的に学習することができる。

**履修上の注意**

ディスカッションや発表のときは、他者の話に関心を持ち、積極的に発言するとともに、良い雰囲気を保つように努めてください。課題等はルールや区切を守って提出してください。また、各回の授業内容にはつながりがあるため、休まず積極的に参加してください。学外での授業を行う場合があります。

**予習・復習**

授業時間外に、資料の作成や課題の実施、発表の準備などに各自で取り組んでいく必要がある。これらを含め、授業に積極的に参加することが大切です。

**評価方法**

授業への参加度・積極性（100%）

**テキスト**

授業内で指示します。

## 授業概要

本コースでは、小学校教育コースの学生向けに、小学校教諭になる上で避けることのできない教科に関する知識の強化を図る。

教科に関する知識は、教員採用試験に（小学校全科のみならず一般教養においても）必要であるにとどまらない。採用試験の前に実施される教育実習、そして実際に教員になってからも必要なことはいくつまでもない。教員にはさまざまな業務があるが、最も主たる業務は授業であり、教科に関する知識は授業を行う上での基礎体力といっても過言ではないからである。

そこで、教科に関する知識がコンパクトに収められているテキストを使用して、問題演習を積み重ねていくとともに、履修者による解説を通して授業に必要なスキルも高めていくことにする。

## 授業計画

第 1 回	オリエンテーション：小学校教諭になるために必要なこととは
第 2 回	教員採用試験問題の実際①：実際の問題を解いてみる
第 3 回	教員採用試験問題の実際②：問題の解説
第 4 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説①-1
第 5 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説①-2
第 6 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説①-3
第 7 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説①-4
第 8 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説②-1
第 9 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説②-2
第 10 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説②-3
第 11 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説②-4
第 12 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説③-1
第 13 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説③-2
第 14 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説③-3
第 15 回	小学校全科の問題演習・履修者による解説③-4

## 到達目標

- ・小学校教諭に必要な教科に関する知識を身に付けることができる。
- ・実際に問題を解説することで、板書や説明のスキルを高めることができる。
- ・小学校教諭になるために自分が乗り越えなければならない壁を理解できる。

## 履修上の注意

- ・問題演習とその解説を繰り返すため、受講者が積極的に取り組むことが重要である。というより、自分で手を動かさない限り、知識やスキルなど身に付けようがないという当たり前の事実きちんと向き合うこと。
- ・問題演習で扱う分野は、受講者の状況等をもとに各クラスで決定する。

## 予習・復習

予習：各回での指示に従うこと。事前に問題を解いてきてもらうこともあるし、特定の問題の解説を指示された場合は入念な準備が必要である。

復習：自分に足りない点について、知識を補充する。

## 評価方法

授業への参加度・積極性（100%）

## テキスト

- ・教科書名：小学校全科の演習問題（2025年度版）
- ・著者名：時事通信出版局（編）
- ・出版社名：時事通信社
- ・出版年：2022年（9月発売予定）